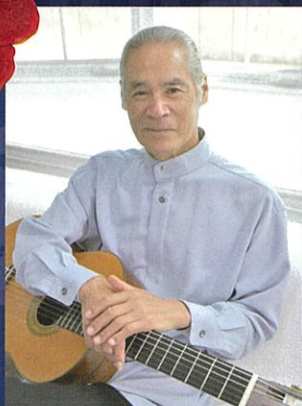


荘村 清志 〈ギター〉 Kiyoshi Shomura (Guitar)



(C)長知興 謙也

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエベスに認められ、翌年スペインで師事。69年の日本デビューで、「テクニック、音楽性ともに第一人者」との高い評価を得た。71年には北米で28に及び公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に、2007年にもNHK教育テレビ「趣味悠々」にそれぞれギター講師として登場し、日本ギター界の第一人者としての存在を強く印象づけた。08年ビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演。同回とは「アランフェス協奏曲」を録音、09年にCDをリリースした。15年にはイ・ムジチ合奏団と共演、録音も行った。2017年からギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らと共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となる。最終回では、cobaに委嘱したギター協奏曲も演奏し、注目を集めた。2020年、朝日新聞の連載「人生の贈りもの」をまとめた書籍「弾いて飲んで酔いしれてギターとともに50年」(吉田純子編著)を出版。22年10月にcoba編曲による世界のポップス名曲選「ゴッドファーザー〜愛のテーマ〜」をリリース。現在、東京音楽大学特任教授。2024年はデビュー55周年&喜寿を迎える。



Since 1961 東京ヴィヴァルディ合奏団 ~さらなる音の拡がりや夢を求め~

2026年創立65周年 日本を代表する室内合奏団

1961年結成、東京藝術大学の出身者により設立。70年代にドイツ・ベルリンフィルハーモニーホールなどでのヨーロッパ公演を成功させ揺るぎない地位を築く。弦楽五部とチェンバロの12名編成は創立以来変わらず1985年より現・音楽監督、チェリストの渡部宏(わたなべこう)が中心となり、さらなる音の拡がりや夢を求めメンバーを一新、イタリアンバロックサウンドを充実させる。巨匠ヴィヴァルディの遺した膨大な数のヴィルトゥオーソ作品を紹介することは重要な柱でもあり、同時にバロック音楽のみならず古典から近・現代の作曲家の作品の幅広いレパートリーにも積極的に取り組み、指揮者を置かず生み出される演奏からは緊張感そしてダイナミックで重厚なサウンドに溢れ、自由性をもった音楽表現の濃(コマ)やかさが高く評価される。ゲストソリストには海外及び国内の一流奏者を招くことにより、メンバーそれぞれの資質向上、若手の登用と育成も目指している。演奏会においてメンバーが独奏を担当し公演毎のプログラムに対してより高密度で充実したものを造り上げ、新鮮な音色を追求している。年間継続スケジュールとして「新春は『四季』を聴きたい」、「定期演奏会」、イタリア文化会館での「Viva Vivaldi!(ヴィヴァ・ヴィヴァルディ!)」、「ファンタジックなクリスマス」、2021年創立60周年を記念して六本木ヒルズ51階でのランチコンサート「天空から時空を超えて」をスタート、特別編成「東京ヴィヴァルディラグジュアリー」による大人とこどものための真夏のコンサート「子供になった大人と大人になった子供の真夏の真話」他、「名曲選」、「音楽の絵本ファンタジー」、「ヴァレンタイン・スペシャル」など多岐に開催。アッテルベリ、ワインズワイク作品などの本邦初演また世界初演も数多い。委嘱による作品には、2001年創立40周年記念の外山雄三作曲：組曲「弓の月」~ 東京ヴィヴァルディ合奏団のための~、2005年イタリアの作曲家、B・ボレーナ：「チェンバロ協奏曲~ 東京ヴィヴァルディ合奏団のための」、などの作品がある。聴き手に「期待と夢に膨らむ魅力ある公演」として上質な演奏会を堅持し提供することを目指し、そして「確かな演奏技術の上に生きた音色と音楽」を演奏者自身の理念としている。流行に左右されず作曲家・作品に敬意を持ち、真摯な音作りと正統派でありつつチャレンジする姿勢に多くのファンからの支持を得る。近年は12名基本編成にとどまらず、三重奏から管打楽器を取り入れた室内オーケストラ編成、特に東京ヴィヴァルディ管弦楽団は高い評価を得ており、日本では類まれな室内合奏団として、大きく歩み続けている。



2023.10.29

- ◆ CD 〈東京ヴィヴァルディ合奏団〉
「お気に入り」~ イタリア合奏団創始者G.グリエルモ(ヴァイオリン)を迎えてイタリア作品集
♪ハイレゾリューション(高音質・リマスターリング盤)で再発売!
「弦楽のためのアダージョ」~
以上、マイスター・ミュージックよりリリース
- ◆ オフィシャルサイト <https://vivaldi.jp/>

「日本ヴィヴァルディ協会」「東京ヴィヴァルディ合奏団会員」
初代会長：戸口幸策(音楽学者・成城大学名誉教授) / 名誉会長：ジョヴァンニ・グリエルモ(イタリア合奏団創始者)
ヴィヴァルディの研究はもとより、合奏団の後援組織として活動し、また会員制度「特別」「賛助(法人・個人)」「定期」「ファンクラブ」「アントニオ」とともに合奏団の活動を力強く支えています。

興風会館

〒278-0037 千葉県野田市野田 250 番地
TEL 04-7122-2191
<https://www.kouhoo1929.or.jp/>

アクセス

- 電車ご利用の場合 東武野田線「野田市」駅下車 徒歩10分
または、「愛宕」駅下車 徒歩15分
- バスご利用の場合 茨急バス(岩井車庫行き)
「キッコーマン前」下車 徒歩1分
- 駐車場 右図駐車場をご利用ください。

